

令和4年度 いわて年末年始無災害運動 取組事例 (釜石労働基準監督署管内)

令和4年度の「いわて年末年始無災害運動」の釜石労働基準監督署管内の取組事例を以下のとおり取りまとめました。事例を提供くださった各事業場の皆様ありがとうございました。

日本製鉄(株) 北日本製鉄所 釜石地区

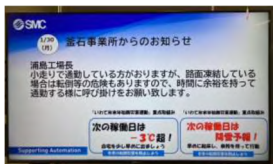
早めの融雪剤の散布

深夜や翌朝に凍結の可能性が予想される場合、構内の橋や主要道路へ、事前に融雪剤散布を行いました。

SMC(株) 釜石・遠野事業所

降雪、低温の注意喚起

次の稼働日にまとまった降雪や氷点下に一気に冷え込むときに、社内LANを使用して電子端末機や電子掲示板、朝礼などで従業員へ注意喚起しました。



自転車・バイク通勤者に対する交通安全メール

【バイク・自転車押し歩き区間】
場内事故多発により赤車線区間は、
踏めてはダメですよ

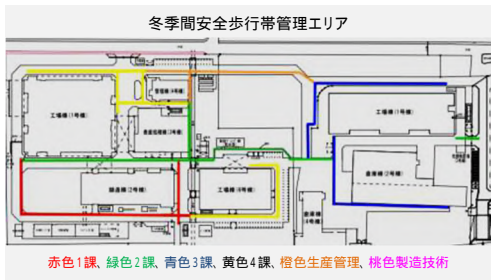


バイク・自転車押し歩き区間

人との接触や転倒災害防止のため正門から駐輪場まで乗車乗り入れ禁止として、押して歩く区間を設定しました。

除雪場所と担当者の明確化

除雪と融雪剤の散布を行う際の区画割と担当部署を明確にしました。また、遠野事業所では安衛さんが除雪当番表に従い作業従事員代表へ、稼働日は5:30~6:00、休日は積雪に応じて連絡を行っています。



「冬道走行のポイント」の作成

スリップ事故等の交通労働災害防止対策として「冬道走行のポイント」を作成(12/2)し周知しました。

冬道走行のポイント

冬季特有の災害を防止する取り組みとして、令和4年末年始無災害運動「冬道走行のポイント」を重点項目の一つとして、冬期間の路面凍結による災害防止対策「冬道走行のポイント」を策定し周知しました。

1. 凍結防止は「止まること」が第一。急ブレーキ、急発進を止める。急ブレーキ、急発進は、急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。
2. 急ブレーキは避ける。凍結路面では、通常の運転と違いタイヤのグリップが弱くなります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。
3. 凍結路面での運転は「止まること」が第一。急ブレーキ、急発進を止める。急ブレーキ、急発進は、急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。
4. 急ハンドルは避ける。凍結路面では、通常の運転と違いタイヤのグリップが弱くなります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。
5. 上り坂は高めのギアで。坂を上る場合は、坂の上りに入る前にあらかじめ適切なギアに合わせ、アクセルを踏んで走り出すようにします。
6. 下り坂は低めのギアで。坂を下る場合は、坂の下りに入る前にあらかじめ適切なギアに合わせ、アクセルを踏んで走り出すようにします。
7. 凍結路面(アイスバーン)上では操作しない。凍結路面ではタイヤのグリップがほとんど失われるため、ハンドルには注意を払って、必ずハンドルを握る必要があります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。
8. 急ブレーキは避ける。凍結路面では、通常の運転と違いタイヤのグリップが弱くなります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。
9. 急ハンドルは避ける。凍結路面では、通常の運転と違いタイヤのグリップが弱くなります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。急ハンドル、急ハンドルはスリップの原因になります。

融雪剤の保存と散布の工夫

融雪剤は4リットルの再利用ペットボトルに予め小分けにして保管しています。さっと散布でき融雪剤が湿気で固まる心配が無いのがさらに良く、残りはそのまま翌シーズンまで保管できます。



日鉄物流釜石(株)

融雪剤散布機材

畑に肥料を散布する機材を融雪剤散布に利用しています。一人で広範囲に短時間に行うことができ、当社では大活躍しています。



積雪や凍結の危険予知活動

降雪や凍結時には、社員各自の危険予知による行動が最も重要と考え、現場の第一線作業員までしっかりと活動の周知徹底するため、前日の社内通知と除雪や路面凍結対応を特に徹底しました。

凍結危険箇所として作業する場合には、スパイクの着用を徹底しています。



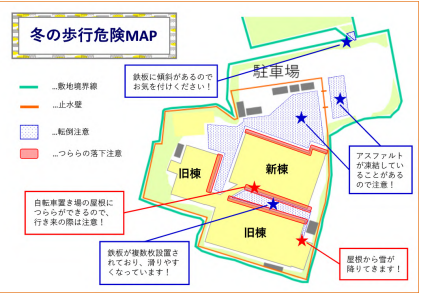
遠野精機(株)

繰り返しの呼びかけと可視化周知

冬季間の注意喚起は繰り返しの呼びかけ、尚かつ、可視化することがポイントと感じ、以下のとおり活動しました。

- 11/15 早めのタイヤ交換呼びかけ。年末大掃除等、非定常時の労災発生注意喚起(安衛委)。
- 12/19 社内「全員会」で全従業員へ注意喚起(転倒防止、工場屋根からの落雪、つらら)。
- 12/21 積雪、路面凍結時、出勤/帰宅時の安全運転と余裕を持った行動。年末大掃除、高所作業時は複数人で声掛けを行い事故、怪我の無いように行うこと。日が短くなっているため帰宅時は車のライト早めの点灯。工場屋根からの落雪、滑って転ばないように注意(安衛委)。
- 12/26 社内電子掲示板へ「冬季間の転倒防止」を掲載し注意喚起。
- 1/5 「冬の歩行危険マップ」を作成し電子掲示板へ掲載。
- 1/17 走って転ばないように時間に余裕をもって歩行、ゆとりをもった車の運転を行うこと(安衛委)。

融雪剤の散布、つらら除去は、ヘルメットを着用しています。



釜石労働基準監督署

気温と天気予報の周知

試行錯誤を重ねた結果、翌日の最高気温、最低気温の予測、天気予報を毎日午前中に事務室出入口に掲示しました。

また、強烈な寒波が襲来した際は別に注意事項の表示もしました。



冬季間の各種災害防止活動

12/1～2/28を「冬季災害防止活動」期間

12/1～1/15を「年末年始無災害運動」期間とし、「待ってまず元気なあなた明るく迎える年末年始」をスローガンに活動を実施しました。

各種活動のパネルを工場内4か所に掲示し、周知・啓発を行いました。

朝会での呼掛け、毎日の所内メール、1/24の週に寒波襲来の際には、別に注意喚起もしました。



除雪体制の確認

降雪に備えて、構内の場所割り、対応者を明確にした除雪体制や基準を定め、事前確認をしました。



ゼロ・100 活動の実施

会社及びグループ会社において、12月22日から3月31日まで、「2023年ゼロ・100活動塗りつぶしコンテスト」を実施しました。

毎日、干支の塗りつぶしを行うことによって、安全意識の向上と安全最優先の定着を図ることを目的にしています。

塗りつぶし後、社員やその家族から応募を募り、1次審査、本社幹部による最終審査を経て、入賞作品を決定する予定です。



社内のグループウェアを使った周知・連絡

無災害運動の周知(12/16) 冬道の交通事故防止強化期間の周知(1/10) 降雪に備えた出勤時の注意喚起(1/20) 県内の交通事故発生状況(1/23)について、社内のグループウェアを使って周知・連絡しました。

さらに、2/10の夕方は大雪が予想されたことから、退勤時間を早めることがある旨事前に予告し、当日の退勤時間を1時間ほど早めました。

上関伊達造（株）

落雪、落水からの危険回避

屋根からの落雪や落水等を回避するため、落雪、落水の除去を頻繁に行いました。

さらに、事業所各所に貼り紙を掲示し、注意喚起もしました。

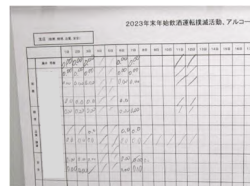


日鉄テックスエンジ（株）

交通事故防止対策

心と時間に余裕を持った運転を心がけるよう、社員に注意喚起のメールを発信しました。

また、飲酒運転撲滅のため、ポータブルアルコールテスターを全員に配付し、出勤前に自宅でアルコールチェックを自ら行い、出社後に記録し管理しています。



ごみゼロコンクールの実施

事務所や作業現場の定期4Sの実施、不要物の廃棄を促すため、「ごみゼロコンクール」を実施しました。



健康の保持増進

毎月22日を「禁煙デー」と定め、工場内の至るところにポスターを掲示し周知しています。



ポスターは毎月コメントを変えて貼り替えています。

冬季災害の注意喚起の徹底

朝のミーティング時に気象に関する情報を共有しました。夕方のグループミーティング時に気温・積雪の情報を再共有し、事業所構内と管内（釜石・大槌地域）における具体的な危険箇所の注意喚起も実施しました。

使用前の社有車、期間中のマイカーの冬装備の点検及び補充を徹底しました。

釜石労働基準監督署の事務室 掲示物

